

## 日本DNA多型学会第15回学術集会のご案内

平成18年10月16日

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、日本DNA多型学会第15回学術集会を広島県福山市において、下記の日程・要領で開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。なお、第1報でご案内し

ました11月16日の9時45分開会式、10時から展示発表（地下1階：文化交流室）の開始は大幅に変更し、**9時20分の開会式、9時30分から口演発表（2階：ホール）**に変更させて頂いておりますので、ご注意下さい。

日時：[公開シンポジウム・市民講座](#) 平成18年11月15日(水)10:00～17:00  
[日本DNA多型学会学術集会\(プログラム\)](#) 11月16日(木) **9:20**～17:30  
11月17日(金) 9:00～16:00

会場：[広島県民文化センターふくやま](#)  
〒720-8519 広島県福山市東桜町1-21（JR福山駅より歩いて4分）  
TEL：084-921-9200 (代表) FAX：084-921-8200

懇親会場：[福山ニューキャッスルホテル](#) 11月16日（木）18:00～20:00

### 1. プログラムの概要

11月15日(水)

9:00 開場  
9:30 受付

10:00～12:00 公開シンポジウム（2階：ホール）

「農林水産物のDNA鑑定の現状と展望  
あなたはその表示をどこまで信じられますか？」

1. 水産物領域、農産物領域（野菜、果樹他）

< 12:00～13:00 休憩 >

13:00～14:30

2. 農産物領域（米飯）、畜産物領域（牛肉他）

15:00～17:00 市民講座（2階：ホール）

「DNAが語る食と生活の安心・安全

「DNAの基礎から実用化まで」

11月16日(木)

### 学術集会 第1日

8:30 開場

8:45 受付開始 (1階:ロビー)

9:20 開会式 (2階:ホール)

9:30～11:50 口演発表1～14 (2階:ホール)

12:00～13:00 テクニカルセミナー (2階:ホール)

12:00～13:00 評議員会 (地下1階:練習室(2))

13:00～14:40 口演発表15～24 (2階:ホール)

15:00～17:00 展示発表 P1～P24 (地下1階:文化交流室)

18:00～20:00 懇親会 ([福山ニューキャッスルホテル](#))

11月17日(金)

### 学術集会 第2日

8:30～ 開場・受付

9:00～11:00 展示発表 P25～P42 (地下1階:文化交流室)

<注: 10:20 から2階のホールにて口演発表が始まります。>

10:20～11:50 口演発表 25～33 (2階:ホール)

12:00～13:00 テクニカルセミナー (2階:ホール)

13:00～13:30 総会 (2階:ホール)

13:30～14:30 口演発表 34～38 (2階:ホール)

14:30～15:50 招待講演 (2階:ホール)

「バイオインフォマティクスを駆使した比較ゲノム学の展望」

埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 教授 岡崎康司

15:50～16:00 学会賞授与式、次期大会長挨拶および閉会式 (2階:ホール)

## 2. お知らせ

開場 11月16日(木) 8:30

受付 11月16日(木) 8:45～ 1階:ロビー

開会式 11月16日(木) 9:20～ 2階:ホール

評議員会(第33回)

11月16日(木) 12:00～13:00 地階1階:練習室2

(評議員及び監事の先生方のみご参集下さい)

懇親会 11月16日(木) 18:00～20:00 < [福山ニューキャッスルホテル](#) >

総会 11月17日(金) 13:00～13:30 2階:ホール

口演発表 11月16日(木) 9:30～14:40 2階:ホール

11月17日(金) 10:20～14:20 2階：ホール  
展示発表 11月16日(木) 15:00～17:00 地下1階：文化交流室  
11月17日(金) 9:00～11:00 地下1階：文化交流室  
招待講演 11月17日(金) 14:20～15:50 2階：ホール  
テクニカルセミナー  
11月16日(木) 12:00～13:00 2階：ホール  
11月17日(金) 12:00～13:00 2階：ホール  
学会賞授与式、次期大会長挨拶及び閉会式  
11月17日(金) 15:50～16:00 2階：ホール

### 学会賞の規定の変更

日本DNA多型学会賞受賞者審査選考実施細則の中の、「優秀研究賞選考基準」の一部が下記のように変更になりました（DNA多型 Vol.13, p.307）。ご注意ください。

#### 『第5条、第5項

受賞式において、該当候補者（共同演者を含む）が不在の場合は辞退とみなし、受賞を取り消すことがある。この際は次点演題を繰上げ受賞する。この決定は学会長が行う。』

### 3. お願い

#### 1) 口演発表、展示発表発表者の方へ

『DNA多型学会Vol. 15』掲載原稿、原稿を入力したCD-Rおよび著作権の委譲承諾書等を受付（1階ロビー）へ提出して下さい。

#### 2) 口演発表される方へ

会場は「広島県民文化センターふくやま」の2階ホールです。

発表7分、質疑応答3分を予定しております。発表スライドはコンピュータ（1台）からの直接出力で行い、Windows XP、PowerPoint 2002 (Office XP) (Microsoft 社) で作動させます。受付（1階ロビー）に、ご送付頂いたスライドをファイルしたパソコン

を準備いたしますので、口演発表30分前には作動を確認して下さい。

なお、スライドのコマ送りは演者が行って下さい。

### 3) 展示発表される方へ

会場は「広島県民文化センターふくやま」地下1階文化交流室です。

11月16日(木) 8:30～10:00に、ポスターをお貼りください。

展示スペースは、縦200cm、横90cmです。

左上隅の縦20cm、横25cmに演題番号を表示してあります。

発表3分、質疑応答2分をお願いします。

撤去は11月17日(金) 14:00～16:00をお願いします。

### 4) 懇親会へ参加される方へ

日時：11月16日(木) 18:00～20:00

会場：[福山ニューキャッスルホテル](#)

会費：5000円

### 5) テクニカルセミナーへ参加される方へ

日時：11月16日(木) 12:00～13:00

11月17日(金) 12:00～13:00

会場：広島県民文化センターふくやま 2階ホール

昼食：参加申込み者には、お弁当とお茶を配布します。

## 口演発表 (ホール:2階)

第1日 11月16日(木)

9:30~10:10 動物のDNA多型 1

座長 : 針原伸二 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

1 メダカゲノム内のミニサテライトに関する検討

奥野知子<sup>1</sup>, 元慶華<sup>1</sup>, 新免奈津子<sup>1,2</sup>, 鶴山竜昭<sup>1</sup>, 飯野守男<sup>1</sup>,  
Richard H. Kaszynski<sup>1</sup>, 玉木敬二<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京都大学医学研究科法医学講座、<sup>2</sup>昭和大学大学院医学研究科法医学  
教室)

2 脊椎動物DNase Iの分子進化: サメDNase Iに見られる特異な構造特性

藤原純子<sup>1</sup>, 安田年博<sup>2</sup>, 植木美鈴<sup>2</sup>, 飯田礼子<sup>2</sup>, 中島たみ子<sup>3</sup>, 岸紘一郎<sup>3</sup>,  
小湊慶彦<sup>3</sup>, 竹下治男<sup>1</sup>, 小林敬典<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>島根大学医学部、<sup>2</sup>福井大学医学部、<sup>3</sup>群馬大学医学系大学院、<sup>4</sup>中央水産  
研究所)

3 ミトコンドリアDNAを用いたヒメシジミの個体群解析

永幡嘉之、山崎健太郎、北野誉、梅津和夫  
(山形大学医学部法医学教室)

4 国内外におけるオニヒトデ大量発生集団のマイクロサテライト解析

安田仁奈<sup>1</sup>・長井敏<sup>2</sup>・浜口昌巳<sup>2</sup>・瀬岡和夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京工業大学大学院情報理工学研究科 <sup>2</sup>独立行政法人水産総合研究セ  
ンター瀬戸内海区水産研究所)

10:10~11:00 動物のDNA多型 2

座長：西堀正英（広島大学大学院生物圏科学研究科）

5 木曾馬の毛色多様性の退行現象評価における毛色遺伝子多型の応用

向山明孝、古田洋樹、吉田達行、友金 弘

（日本大学歯学部法医学教室）

6 小・中型食肉目の野外調査における分子遺伝学的アプローチ

黒瀬 奈緒子、柳瀬 美岐

（神奈川大・理・生物科学科）

7 野生チンパンジーの父子判定

井上英治<sup>1</sup>、井上-村山美穂<sup>2</sup>、西田利貞<sup>3</sup>、Linda Vigilant<sup>4</sup>、竹中修<sup>5</sup>

（<sup>1</sup>京都大学大学院理学研究科、<sup>2</sup>岐阜大学応用生物科学部、<sup>3</sup>日本モンキーセンター、<sup>4</sup>Department of Primatology, Max Planck Institute、<sup>5</sup>京都大学霊長類研究所）

8 ネコにおけるアンドロゲン受容体遺伝子 (*AR*) exon1領域の多型

加藤佑美子<sup>1</sup>、井上 村山美穂<sup>1</sup>、川本芳<sup>2</sup>、野澤謙<sup>2</sup>、黒澤弥悦<sup>3</sup>、北川均<sup>1</sup>、  
佐々木榮英<sup>1</sup>、伊藤慎一<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>岐阜大学応用生物科学部、<sup>2</sup>京都大学霊長類研究所、<sup>3</sup>奥州市牛の博物館）

9 近畿地方におけるアライグマのmtDNA多型分布

高田雄三<sup>1,2</sup>、今井利夫<sup>2</sup>、鈴木和男<sup>3</sup>、横山真弓<sup>4</sup>、向田政博<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>防衛医大、<sup>2</sup>東邦大学、<sup>3</sup>田辺市ふるさと自然公園センター、<sup>4</sup>兵庫県立人と自然の博物館）

11:00 ~ 11:50 植物のDNA多型 1

座長 : 松山知樹 ( 理化学研究所 中央研究所 )

- 10 SSRマーカーを用いた生食用ブドウの品種判別の試み  
大橋義孝<sup>1</sup>、佐藤 守<sup>1</sup>、岡田初彦<sup>1</sup>、山田昌彦<sup>2</sup>、三谷宣仁<sup>2</sup>、上田恵理子<sup>3</sup>、  
西谷千佳子<sup>3</sup>、山本俊哉<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>福島農総セ果樹研、<sup>2</sup>農研機構果樹研ブドウ・カキ研究拠点、<sup>3</sup>農研機構果  
樹研 )
- 11 DNAマーカーによる日本の栽培モモ品種の果肉色および果実酸度の評価  
山本俊哉<sup>1</sup>、小野勇治<sup>2</sup>、島田武彦<sup>1</sup>、大橋義孝<sup>3</sup>、佐藤 守<sup>3</sup>、西谷千佳子<sup>1</sup>、  
八重垣英明<sup>1</sup>、山口正己<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>農研機構果樹研究所、<sup>2</sup>福島相双農林、<sup>3</sup>福島県農総セ果樹研 )
- 12 ナシの細胞壁関連遺伝子群におけるSNPs開発と品種識別  
西谷千佳子<sup>1</sup>、寺上伸吾<sup>2</sup>、今井 剛<sup>1,2</sup>、清水徳朗<sup>1</sup>、山本俊哉<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>農研機構・果樹研究所、<sup>2</sup>筑波大院・生命環境科学研究科 )
- 13 病害抵抗性と連鎖するDNAマーカーを用いたナシの品種判別  
寺上伸吾<sup>1</sup>、足立嘉彦<sup>2</sup>、佐藤義彦<sup>3</sup>、澤村豊<sup>3</sup>、高田教臣<sup>3</sup>、西谷千佳子<sup>3</sup>、  
山本俊哉<sup>1,3</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科<sup>2</sup>農業・食品産業技術総合研究機構  
東北農業研究センター<sup>3</sup>農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 )
- 14 SSRマーカーによる輸入アウトウおよび国内市販品の品種識別  
高品善<sup>1</sup>、山本俊哉<sup>2</sup>、石黒亮<sup>1</sup>、西村幸一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>山形農総研セ・農業生産技術試験場、<sup>2</sup>農研機構・果樹研究所 )

**テクニカルセミナー 12:00 ~ 13:00 (ホール:2階)**

事前に申し込まれた参加者にお弁当と飲物を配布します。

Title : Recent Advances in Forensic DNA Typing

Dr. Bruce Budowle ( Federal Bureau of Investigation )

座長 : 山本敏充 ( 名古屋大学大学院医学系研究科 )

**第33回 評議員会 12:00 ~ 13:00 (練習室(2):地下1階)**

(評議員の先生方のみご参集下さい。)

## 口演発表 (ホール:2階)

第1日 11月16日(木)

13:00~13:50 植物のDNA多型 2

座長 : 山本俊哉 (農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所)

- 15 ニホンナシのDNAマーカー選抜育種法の開発  
森本隆義<sup>1</sup>、田平弘基<sup>1</sup>、板井章浩<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>鳥取県園芸試験場、<sup>2</sup>鳥取大学農学部)
- 16 カンキツの簡易DNAマーカースクリーニングの開発  
清水徳朗<sup>1</sup>、中野道治<sup>2</sup>、西川芙美恵<sup>1</sup>、遠藤朋子<sup>1</sup>、藤井浩<sup>1</sup>、島田武彦<sup>1</sup>、  
大村三男<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>農研機構・果樹研究所、<sup>2</sup>静岡大学農学部)
- 17 塩基配列情報を利用した植物種同定方法の検討  
甲斐元土、渡辺直樹、高木卓也、福島久代  
(北海道警察本部科学捜査研究所)
- 18 重イオンビームによって誘発されるDNA多型の解析  
市田裕之<sup>1,2</sup>、松山知樹<sup>3</sup>、龍頭啓充<sup>2</sup>、福西暢尚<sup>2</sup>、林依子<sup>2</sup>、阿部知子<sup>2</sup>、  
木庭卓人<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大学大学院自然科学研究科、<sup>2</sup>理化学研究所 仁科加速器研究  
センター、<sup>3</sup>理化学研究所 中央研究所)
- 19 レトロトランスポゾン挿入多型によるサツマイモ加工食品原料品種の識別  
田原誠<sup>1</sup>、山下裕樹<sup>1</sup>、大江夏子<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>岡山大学大学院自然科学研究科(農学部資源細胞工学研究室)、  
<sup>2</sup>岡山大学資源生物科学研究所)



13:50 ~ 14:40 水産領域のDNA多型

座長：猿渡敏郎（東京大学海洋研究所）

20 アコヤガイのIGS領域に見られたテロメア様配列とその変異性を利用したDNAマーカーの開発

正岡哲治<sup>1</sup>、小林敬典<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>(独)水産総合研究センター養殖研究所、<sup>2</sup>(独)水産総合研究センター中央水産研究所)

21 日本沿岸域に分布する有害赤潮藻Heterosigma akashiwoの個体群構造の解析

長井 敏<sup>1</sup>、西谷 豪<sup>1</sup>、山口早苗<sup>1</sup>、宮原孝博<sup>2</sup>、西川哲也<sup>3</sup>、畑 直亜<sup>4</sup>、大橋昭彦<sup>5</sup>、松山幸彦<sup>1</sup>、板倉 茂<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>瀬戸内海区水産研究所、<sup>2</sup>大分水試浅海研究所、<sup>3</sup>兵庫県水産技術センター、<sup>4</sup>三重県水産技術センター、<sup>5</sup>愛知県水産試験場)

22 ホシザメからのマイクロサテライト領域の検出技術

唐戸周一<sup>1</sup>、小林敬典<sup>2</sup>、北村徹<sup>3</sup>、谷内透<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>日本大学大学院生物資源科学研究科、<sup>2</sup>中央水産研究所、<sup>3</sup>日本エヌユーエス(株))

23 Tag-Arrayを用いたサケ科魚類の種判別の検討

小林敬典<sup>1</sup>、正岡哲治<sup>2</sup>、大原一郎<sup>1</sup>、岡崎登志夫<sup>1</sup>、辻本敦美<sup>3</sup>、五條堀孝<sup>4</sup>

(<sup>1</sup>中央水産研究所、<sup>2</sup>養殖研究所、<sup>3</sup>日本ソフトウェアマネジメント株式会社、<sup>4</sup>国立遺伝学研究所 DDBJ・生命情報研究センター)

24 ソウハチのミトコンドリアDNAを用いた多型解析

柳本 卓<sup>1</sup>、高 天翔<sup>2</sup>、小林敬典<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>北海道区水産研究所、<sup>2</sup>中国海洋大学、<sup>3</sup>中央水産研究所)

展示発表会場(文化交流室:地下1階)に移動

## 展示発表 (文化交流室:地下1階)

第1日 11月16日(木)

15:00~15:30 親子鑑定、人獣鑑別、動物のDNA多型

座長 : 梅津和夫 (山形大学医学部法医学教室)

- P1 焼死体の大動脈DNAを用いたAmpF STR<sup>®</sup>Identifiler™Kitによる親子鑑定例  
茂谷久子、井之上弘幸、佐藤彌生、早川 睦、矢島大介、永澤明佳、  
田口真美、岩瀬博太郎  
(千葉大学大学院医学研究院法医学教室)
- P2 生物学的な父親が擬父か擬父の血縁者かを問う場合の父権肯定確率計算法  
境 純、橋谷田真樹、金武 潤、舟山真人  
(東北大学大学院医学系研究科社会医学講座法医学分野)
- P3 Cytb遺伝子の一塩基多型を利用した動物種識別法  
- イヌ・ネコ・ヒトの識別 -  
中木真一、日野大樹、三好美紀、中山英樹、森好浩行、森川俊雄、  
糸原幸次  
(広島県警 刑事部 科学捜査研究所)
- P4 Differential Display RT-PCRを用いたニワトリ初期胚での遺伝子発現様式  
山本耕裕、福田靖、小野珠乙、鏡味裕  
(信州大学農学部)
- P5 ペンギン類を含む海鳥類のMHC領域における系統解析  
吉川 枝里<sup>1</sup>、津田 とみ<sup>1,2</sup>、成瀬 妙子<sup>3</sup>、炭山 大輔<sup>1</sup>、福田 道雄<sup>4</sup>、  
栗田 正徳<sup>5</sup>、津田 道雄<sup>1</sup>、村田 浩一<sup>6</sup>、猪子 英俊<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、<sup>2</sup>徳島文理大学人間生活学部、  
<sup>3</sup>東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野、<sup>4</sup>東京都葛西臨海水族  
園、<sup>5</sup>名古屋港水族館、<sup>6</sup>日本大学生物資源科学部)
- P6 FUT2プロモーター領域の解析  
副島美貴子、神田芳郎  
(久留米大学医学部法医学・人類遺伝学講座)

15:30 ~ 16:00 植物のDNA多型 1

座長 : 奥泉久人 ( 農業生物資源研究所 )

P7 胃内容物および加工食品のDNA鑑定

花森功仁子<sup>1,2</sup>、大角信介<sup>3</sup>、望月峰子<sup>2</sup>、齋藤寛<sup>4</sup>、向井譲<sup>1</sup>、佐藤洋一郎<sup>5</sup>  
( <sup>1</sup>岐阜大学大学院連合農学研究科、<sup>2</sup>株式会社ジェネテック、<sup>3</sup>株式会社ベックス、<sup>4</sup>東海大学海洋学部、<sup>5</sup>総合地球環境学研究所 )

P8 RightWalk™ Kit を利用したSSRマーカの開発

大角信介<sup>1</sup>、児玉英之<sup>1</sup>、谷口美穂<sup>1</sup>、花森功仁子<sup>2</sup>、山本俊哉<sup>3</sup>、中村郁郎<sup>4</sup>、  
佐藤洋一郎<sup>5</sup>  
( <sup>1</sup>株式会社ベックス、<sup>2</sup>株式会社ジェネテック、<sup>3</sup>果樹研究所、<sup>4</sup>千葉大学、  
<sup>5</sup>総合地球環境学研究所 )

P9 AFLP法によるウンシュウミカン品種・系統間での多型検出

坂西 英<sup>1</sup>、上田高則<sup>2\*</sup>、清水徳朗<sup>2</sup>、藤井 浩<sup>2</sup>、島田武彦<sup>2</sup>、遠藤朋子<sup>2</sup>、  
吉田俊雄<sup>2</sup>、大村三男<sup>3</sup>  
( <sup>1</sup>熊本県農業研究センター果樹研究所、<sup>2</sup>農研機構・果樹研究所、<sup>3</sup>静岡大学  
農学部、\*現・青森グリーンバイオセンター )

P10 SSRマーカーを用いたリンゴ加工品のDNA鑑定

木村鉄也<sup>1,2</sup>、小曾納雅則<sup>2</sup>、西谷千佳子<sup>3</sup>、伴 義之<sup>2</sup>、山本俊哉<sup>3</sup>  
( <sup>1</sup>農林水産省農林水産技術会議事務局、<sup>2</sup>種苗管理センター調査研究課、  
<sup>3</sup>果樹研究所遺伝育種部 )

P11 ネギ属植物におけるDNAマーカーの開発について

荒木直幸<sup>1,3</sup>、執行正義<sup>2,3</sup>  
( <sup>1</sup>山口県警察本部科学捜査研究所、<sup>2</sup>山口大学農学部、<sup>3</sup>鳥取大学大学院  
連合農学研究科 )

P12 SSRマーカーによるナスの品種判別技術の開発とナス加工品への適用

古川 真、谷本秀夫、橘田浩二、西岡輝美  
( 大阪府立食とみどりの総合技術センター )

16:00 ~ 16:30 植物のDNA多型 2、水産領域のDNA多型

座長：清水徳朗（農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所）

P13 STSマーカーによる中国・国産ニンニクの判別

谷本秀夫、古川 真、橘田浩二、西岡輝美  
（大阪府立食とみどりの総合技術センター）

P14 SSRマーカーによる辛トウガラシの品種判別

橘田浩二<sup>1</sup>、南山泰宏<sup>2</sup>、谷本秀夫<sup>1</sup>、古川 真<sup>1</sup>、西岡輝美<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>大阪府立食とみどりの総合技術センター、<sup>2</sup>京都府農業資源研究センター）

P15 イグサ品種「ひのみどり」特異的マーカーの開発

細淵朗子<sup>1,2</sup> 高宮知子<sup>1,2</sup> 野口友嗣<sup>1,2</sup> 山下秀次<sup>3</sup>、山中慎介<sup>1</sup> 西川智太郎<sup>1</sup>  
小山朗夫<sup>1</sup> 河瀬眞琴<sup>1</sup> 村上康文<sup>2</sup> 奥泉久人<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>農業生物資源研究所、<sup>2</sup>東京理科大学）

P16 RLGS法によるコンニャク品種識別マーカーの開発

野口友嗣<sup>1,2</sup>、細淵朗子<sup>1,2</sup>、高宮知子<sup>1,2</sup>、飯塚弘明<sup>3</sup>、加藤晃<sup>3</sup>、山下秀次<sup>4</sup>、  
山中慎介<sup>1</sup>、西川智太郎<sup>1</sup>、小山朗夫<sup>1</sup>、河瀬眞琴<sup>1</sup>、内田秀司<sup>3</sup>、村上康文<sup>2</sup>、  
奥泉久人<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>農業生物資源研究所、<sup>2</sup>東京理科大学、<sup>3</sup>群馬県農業技術センター、<sup>4</sup>九州東  
海大学）

P17 RLGS法による植物培養変異の検出

高宮知子<sup>1,2</sup> 大竹祐子<sup>1</sup> 細淵朗子<sup>1,2</sup> 野口友嗣<sup>1,2</sup> 山中慎介<sup>1</sup> 西川智太郎<sup>1</sup>  
小山朗夫<sup>1</sup> 河瀬眞琴<sup>1</sup> 村上康文<sup>2</sup> 奥泉久人<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>農業生物資源研究所、<sup>2</sup>東京理科大学）

P18 魚種名称ガイドラインに基づくmtDNAチトクロームb部分塩基配列の網羅的決定

大原一郎<sup>1</sup>、村田裕子<sup>1</sup>、小林敬典<sup>1</sup>、高嶋康晴<sup>2</sup>、猿渡敏郎<sup>3</sup>、星野浩一<sup>4</sup>  
（<sup>1</sup>中央水産研究所、<sup>2</sup>農林水産消費技術センター、<sup>3</sup>東京大学海洋研究所、  
<sup>4</sup>遠洋水産研究所）

16:30 ~ 17:00 DNA構造解析、遺伝子発現、法科学的鑑定、検出技術1

座長：吉田日南子（香川県警察本部科学捜査研究所）

P19 ABO血液型遺伝子のエクソン3, 4およびイントロン3における多型

沖浦達幸<sup>1,3</sup>、西向弘明<sup>1</sup>、田中孝明<sup>2</sup>、半田 譲<sup>2</sup>、土居正宣<sup>3</sup>、福森泰雄<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>愛媛大学大学院医学系研究科病態解析学講座法医学分野、<sup>2</sup>愛媛大学医学部、<sup>3</sup>愛媛県警察本部刑事部科学捜査研究所、<sup>4</sup>大阪府赤十字血液センター)

P20 母子間および同一個人内のlength heteroplasmy 解析

浅利 優、安積 順一、清水 恵子、塩野 寛  
(旭川医科大学法医学教室)

P21 微量資料(皮膚接触痕)におけるREPLI-g Mini Kitの有用性について

山口裕樹<sup>1</sup>、石河淳<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>福岡県警察本部科学捜査研究所)

P22 フラグメント解析によるLewis式遺伝子型判定法

常盤尚子<sup>1,2</sup>、西田ちよみ<sup>1,2</sup>、佐藤耕一<sup>1,2</sup>、伊藤幸夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>順天堂大学医学部法医学研究室、<sup>2</sup>警視庁科学捜査研究所)

P23 DMPA(differentially methylated parental allele)検出法に関する検討III

中屋敷徳<sup>1</sup>、高宮正隆<sup>1</sup>、橋谷田真樹<sup>2</sup>、熊谷章子<sup>1</sup>、青木康博<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>岩手医科大学医学部法医学教室 <sup>2</sup>東北大学大学院医学研究科社会医学講座法医学分野)

P24 温度勾配電気泳動法によるmtDNA HV1領域の同一性比較法

三谷友亮<sup>1,2</sup>、赤根敦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>関西医科大学法医学教室、<sup>2</sup>大阪府警察本部刑事部科学捜査研究所)

18:00 ~ 懇親会(福山ニーキャッスルホテル)

## 展示発表 (文化交流室:地下1階)

第2日 11月17日(金)

9:00~9:30 検出技術 2

座長 : 大澤資樹 ( 東海大学医学部基盤診療学系法医学 )

P25 WGA法を応用したミトコンドリアDNA・HVI領域のシーケンス解析

奈良明奈<sup>1</sup>、針原伸二<sup>2</sup>、青柳美輪子<sup>1</sup>、相馬玲子<sup>1</sup>、岩橋公晴<sup>1</sup>

( <sup>1</sup>東京医科歯科大学大学院司法医学分野、<sup>2</sup>東京大学理学部人類遺伝学分野 )

P26 LAMP法による歯髄DNAからのMN式血液型判定

堤 博文、向山レイ、小室歳信

( 日本大学歯学部法医学教室 )

P27 Exonuclease による陳旧試料DNA増幅の検討

鉄 堅、芹沢優花、押田茂實

( 日本大学医学部 法医学教室 )

P28 Barocycler を用いた古代骨からのDNA抽出とゲノミックDNA解析

炭山大輔<sup>1</sup>、吉川枝里<sup>1</sup>、横沢佑弥<sup>2</sup>、谷口貴信<sup>2</sup>、永倉貢一<sup>3</sup>、猪子英俊<sup>1</sup>

( <sup>1</sup>東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、<sup>2</sup>株式会社 ベリタス、<sup>3</sup>東海大学医学部基礎医学系生体防御学 )

P29 プライマー伸長反応を用いたミトコンドリアDNAのSNPs解析による個人識別の検討

城尾智美<sup>1,2</sup>、西尾元<sup>2</sup>、福西新弥<sup>2</sup>、高城武嗣<sup>2</sup>、鈴木廣一<sup>2</sup>

( <sup>1</sup>大阪府警察本部刑事部科学捜査研究所、<sup>2</sup>大阪医科大学法医学教室 )

P30 ALF Expressを用いたDopamine D2 receptor gene intron2 における(CA)nSTRの解析

中村 貴子、本田 克也

( 筑波大学人間総合科学研究科法医学 )

9:30~10:00 検出技術 3、DNAデータベース 1

座長：西向弘明（愛媛大学大学院医学系研究科病態解析学講座法医学分野）

P31 SNPデータベースの構築と解析の高速化

橋谷田真樹，板倉征男，長嶋登志男，境 純，舟山真人  
（東北大学大学院医学系研究科社会医学講座法医学分野）

P32 劣化DNA試料に有効な常染色体Mini STR multiplex system

浅村英樹、藤森林、小林寛也、太田正穂、沖貴仁、福島弘文  
（信州大学医学部法医学教室）

P33 Phi29 DNA polymeraseで増幅した米ゲノムDNAのPCR多型分析への適用例と条件検討

伊藤未来<sup>1</sup>、井上幸子<sup>2</sup>、前田純夫<sup>1,2</sup>  
（<sup>1</sup>奈良女子大学大学院人間文化研究科、<sup>2</sup>奈良女子大学生生活環境学部）

P34 AmpF STR Yfiler Kit で検出されるアリアルルのピーク高についての検討

田村明敬、岩田美佐、坪井健人、高城武嗣、福西新弥、宮崎時子、  
西尾 元、鈴木廣一  
（大阪医科大学 法医学教室）

P35 “Midi-6”マルチプレックスシステムに含まれるSTRローカスのUSA主要ヒト集団における識別力と他のminiSTRsとの比較

山本敏充<sup>1</sup>、打樋利英子<sup>1</sup>、吉本高士<sup>1</sup>、勝又義直<sup>2</sup>、Mavis Date Chong<sup>3</sup>、  
Martin R. Buoncristiani<sup>3</sup>  
（<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科法医・生命倫理学、<sup>2</sup>警察庁科学警察研究所、<sup>3</sup>カリフォルニア州司法省Jan Bashinski DNA研究所）

P36 日本におけるCriminal DNA databaseと諸外国との比較

澤口聡子、加藤真美\*、多木崇、加藤久雄\*  
（東京女子医科大学医学部法医学講座、\*慶応義塾大学大学院法学研究科）

10:30～11:00 DNAデータベース 2、臨床応用

座長：神田芳郎（久留米大学医学部法医学・人類遺伝学教室）

P37 日本人における23種(28座位)のY STRハプロタイプの分布

湯浅 勲<sup>1</sup>，入澤淑人<sup>1</sup>，中村博明<sup>2</sup>，梅津和夫<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>鳥取大学医学部法医学分野、<sup>2</sup>島根県警本部科学捜査研究所、<sup>3</sup>山形大学医学部法医病態診断学分野）

P38 STRシステム“Midi-6”の遺伝子頻度分布

熊谷礼子<sup>1</sup>，佐々木善敏<sup>2</sup>，徳田卓也<sup>2</sup>，青木康博<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>岩手医科大学医学部法医学教室 <sup>2</sup>岩手県警察本部刑事部科学捜査研究所）

P39 AR遺伝子内triplet repeatsのmultiplex解析

大澤資樹<sup>1</sup>、田偉<sup>2</sup>、長谷川巖<sup>1</sup>、梅津和夫<sup>2</sup>、山崎健太郎<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>東海大学医学部法医学、<sup>2</sup>山形大学医学部法医学）

P40 精神神経作用薬服用者における薬物代謝酵素の遺伝子解析

水上 創<sup>1、2</sup>、森晋二郎<sup>2、3</sup>、永井智紀<sup>2</sup>、原 修一<sup>1</sup>、松井健一<sup>2</sup>、福永龍繁<sup>2</sup>、遠藤任彦<sup>1、2</sup>

（<sup>1</sup>東京医科大学法医学教室、<sup>2</sup>東京都監察医務院、<sup>3</sup>東京都福祉保健局保健政策部）

P41 心筋症の遺伝子解析 —トロポニンT遺伝子の変異解析—

橋本千香子、中村茂基、佐々木千寿子、入江渉、中前琢磨、中丸尚美、阿部法子、古川理孝

（北里大学医学部法医学教室）

P42 APPL1遺伝子多型と2型糖尿病・肥満の関連解析研究

中山一大、ムンフトルガ・ルハグワスレン、後藤孝也、宇津美七海、熊田真樹、岩本禎彦

（自治医科大学地域医療学センター人類遺伝学部門）

注：10:20から2階ホールにて口演発表が始まります。



## 口演発表 (ホール:2階)

### 第2日 11月17日(金)

10:20~11:00 遺伝子発現、法科学的鑑定、検出技術

座長 : 小室歳信 (日本大学歯学部法医学教室)

- 25 脱法ドラッグ PMEА投与ラット脳における mrt1b mRNAの定量的検討  
宮地章高、中留真人、横井健人、的場梁次  
(大阪大学大学院医学研究科 予防環境医学専攻 社会環境医学講座 法医学教室)
- 26 多人種間におけるMC1R、OCA2の多型解析  
増井聡亮<sup>1,2</sup>、中留真人<sup>1</sup>、的場梁次<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科予防環境医学専攻社会環境医学講座法医学教室、<sup>2</sup>滋賀県警察本部科学捜査研究所)
- 27 プローブ配列を持つアリル特異的プライマーを用いたリアルタイムPCR法の開発  
渡邊剛太郎<sup>1</sup>、梅津和夫<sup>2</sup>、山崎健太郎<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>山形県警察科学捜査研究所、<sup>2</sup>山形大学医学部法医病態診断学分野)
- 28 ゲルろ過法を用いたスピカラムによる簡便なDNA抽出法  
土居正宣、三宅 仁、沖浦達幸  
(愛媛県警察本部刑事部科学捜査研究所)

11:00 ~ 11:50 DNAデータベース

座長：鈴木 廣一（大阪医科大学法医学教室）

29 マレーシア・クアランブール周辺に在住するマレー人のY染色体多型の系統分化

伊藤春雄<sup>1</sup>、笠原 育<sup>1</sup>、Phrabhakaran Nambiar<sup>2</sup>、水口 清<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>東京歯科大学法歯学講座、<sup>2</sup> Dept. of Oral Biology, University of Malaya）

30 日本人におけるFcレセプター様3遺伝子(FCRL3)の多型解析

太田正穂<sup>1</sup>、勝山善彦<sup>2</sup>、梅村武司<sup>3</sup>、浅村英樹<sup>1</sup>、藤森林<sup>1</sup>、福島弘文<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>信州大学医学部法医学教室、<sup>2</sup>信州大学医学部薬剤部、<sup>3</sup>信州大学医学部第2内科）

31 CYP2A6多型の日本人集団間差異とトルコ人、アフリカオバンボス人における特異的変異の同定

竹下治男<sup>1</sup>、藤原純子<sup>1</sup>、安田年博<sup>2</sup>、今村真二<sup>3</sup>、室友紀<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>島根大学医学部、<sup>2</sup>福井大学医学部、<sup>3</sup>島根県警察本部科学捜査研究所）

32 スペイン・バスク地方固有のヒト集団における“Midi-6”マルチプレックスシステムを用いたSTR解析

山本敏充<sup>1</sup>、Oscar Garcia<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科法医・生命倫理学、<sup>2</sup>バスク国自治州法医学部Ertzaintza地方研究所）

33 3地域のモンゴル人集団における15ローカスのSTR解析

Tserenbat Minjuur<sup>1</sup>、山本敏充<sup>2</sup>、吉本高士<sup>2</sup>、打樋利英子<sup>2</sup>、勝又義直<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>モンゴル健康科学大学病理・法医学、<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科法医・生命倫理学、<sup>3</sup>警察庁科学警察研究所）

テクニカルセミナー 12:00 ~ 13:00 (ホール:2階)

事前に申し込まれた参加者にお弁当と飲物を配布します。

Title: A new mini-STR Technology for Human Identification

Dr. Leonard Klevan ( Applied Biosystems )

座長：辻本敦美 ( 日本ソフトウェアマネジメント(株) )

総会 13:00 ~ 13:30 (ホール:2階)

13:30～14:20 検出技術、臨床応用、法律・倫理関係

座長：小林敬典（水産総合研究センター中央水産研究所）

34 DigiTag2法によるマルチプレックスSNPタイピング

西田奈央<sup>1</sup>、田邊哲也<sup>2</sup>、高須美和<sup>1</sup>、陶山明<sup>3</sup>、徳永勝士<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学教室、<sup>2</sup>オリンパス株式会社、<sup>3</sup>東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系）

35 Criminal DNA databaseの国際比較

加藤真美\*、澤口聡子、多木崇、加藤久雄\*

（東京女子医科大学医学部法医学講座、\*慶応義塾大学大学院法学研究科）

36 骨代謝に及ぼす遺伝子多型の影響とイソフラボンアグリコン摂取の関連

勝山博信<sup>1</sup>、有井雅幸<sup>2</sup>、富田正文<sup>3</sup>、日高和夫<sup>4</sup>、渡辺洋子<sup>4</sup>、伏見滋子<sup>1</sup>、  
奥山敏子<sup>3</sup>、為近美栄<sup>5,6</sup>、角南重夫<sup>1</sup>

（川崎医科大学<sup>1</sup>公衆衛生学、<sup>3</sup>医用中毒学、<sup>4</sup>生化学、<sup>5</sup>中央検査部、<sup>2</sup>キッコーマンバイオケミカル部、<sup>6</sup>大阪大学大学院・生体情報科学講座）

37 DNA鑑定を用いた食の安全・安心への取り組み

阿部由紀子、越坂卓也（G&Gサイエンス株式会社）

38 DNA鑑定における品質保証の確保

徳永光<sup>1</sup>、笹森学<sup>2</sup>（<sup>1</sup>甲南大学法学部 <sup>2</sup>札幌弁護士会）

<b>招待講演（ホール：2階）</b>
---------------------

14:20～15:50

「バイオインフォマティクスを駆使した比較ゲノム学の展望」  
埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 教授 岡崎康司

座長：奥泉久人（農業生物資源研究所）

15:50～16:00

学会賞授与式、次期大会長挨拶および閉会式（ホール：2階）

**テクニカルセミナー（ホール:2階）**

事前に申し込まれた参加者にお弁当と飲物を配布します。

**第1日 11月16日(木) 12:00 ~ 13:00**

**Dr. Bruce Budowle  
Senior Scientist  
Federal Bureau of Investigation**

**Title : "Recent Advances in Forensic DNA Typing"**

**座長 : 山本敏充（名古屋大学大学院医学系研究科）**

**第2日 11月17日(金) 12:00 ~ 13:00**

**Dr. Leonard Klevan  
President, Applied Markets  
Applied Biosystems**

**Title : "A new mini-STR Technology for Human Identification"**

**座長 : 辻本敦美（日本ソフトウェアマネジメント(株)）**